

サンフランシスコ国際空港からロサンゼルス国際空港に向かう際にキャリーケースの荷物の振り分けが出来ておらず大きなキャリーケースが少し重量オーバーしていたが、ユナイテッド航空の職員がとても優しくカタコトの日本語で「ダイジョウブ!」と受け入れてくれた。ユナイテッド航

空の飛行機では飲み物の提供があったものの約2時間の間でキンキンに冷えた缶ジュースが提供されて着陸ギリギリまで飲み物が手元にあり、最後一気飲みしたことが強く印象に残っている。

無事ロサンゼルス空港に到着した後タクシー乗り場を探したが空港の前にはなく、無料バスに乗って空港から5分程度のところにUber、Lyftの車が停まる「LAXit」というライドシェア場からタクシーを乗ることを知り、満員のバスに乗ってからUberで予約したタクシー無事に乗ったものの、「Uberのアプリから予約キャンセルしてキャッシュで払って」

と言われたので「?」と思いつつキャンセルしたが、「85ドルキャッシュで」と言われよくわからないまま支払ったが落ち着いてから、「詐欺なのか?好意なのか?」とよくわからない出来事であった。



サンタアナではモンテッソーリ国際学園で研修をさせていただいた。モンテッソーリの教材を真剣に取り組む様子や職員の関わりを見学させていただいた。バイリンガルの保育園・幼稚園・小学校なのでお子さんも積極的に関わりにきていただき、ほっとした。

研修では内部観察だけでなく、リーダーの先生ともお話をさせていただく機会があったが、「大人は環境の一つ」ということや「モンテッソーリ教育こそインクルーシブ教育であること」等教えていただいた。帰国後どのように事業所に取り入れるのか等気に掛けていただいたが、悩みに対しても真摯に受け止めていただき、助言をいただくことが出来た。

モンテッソーリのエレメンタリー（小学部）も見学させていただいた。モンテッソーリのお仕事の他にも自身の興味のある内容についてリサーチをしていた。利用されている女の子は水族館で見たイルカが絶滅危惧種ということにショックを受けて寄付をするためのポスター作りを行っていたのだが、「イルカが絶滅危惧種なのでお金を集めています」のみだと集まりにくいのでは?と気づき、「レモネードを買ってもらって売り上げ金を寄付する」ことを先生に提案をしていた。その過程にいたるまでに先生方が必要な図鑑や文献等を子どもと一緒に探してその中のわからない言葉や意味が理解できないことを自主的に学ぶことで日本の小学校でいう「理科」「社会」「算数」「国語」等の教科の学びになっていることを実感させられた。学びについては報告書に記載する予定である。



休みの日は日系マーケットに行ったり、ダウンタウンディズニーに買い物に行った。日系マーケットではおにぎりや鯖定食弁当等が売っていたため購入しホテルで持参した味噌汁と一緒に食べたのだが、日本食の美味しさを実感した。日系マーケットには日本人はもちろんのことだが様々な国籍の方が買い物をしていて、日本の食材やお店に対しての興味が高まっていることを実感した。カルフォルニアディズニーは70周年だったようで、たくさんの人で賑わっていた。次の国はニュージーランドであるが季節は冬のようなので体調に気を付けて過ごしたいと思う。

